



ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)

プロバイダーコース in 名古屋市立大学

我々の願いは一つ。“安全なお産”です。少子化の進む日本でもハイリスク分娩は増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療もより濃厚なものになってきています。世界に誇る高い日本の周産期医療レベルを維持するため、分娩に携わる医師、助産師、看護師、救命救急士らがより高い知識と技術を身につけることが重要です。

ALSO とは医師やその他の医療プロバイダーが周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育プログラムです。1993年にアメリカ家庭医学会によって正式に認定され、現在アメリカではほとんどの分娩施設において分娩に関わる医療スタッフがALSOに受講を義務付けられています。本プログラムは極めて高く評価され、現在では世界的に普及しています。

講習内容は周産期救急現場における対処法についてのレクチャーとシミュレーターを用いた実技学習のワークショップです。受講者は2日間のコースを受講し筆記試験とメガデリバリー（実技試験）に合格すると、ALSO Japanより5年間有効の認定書を授与されます。

周産期医療への情熱の漲る、皆さまの受講をお待ちしています。

日時：平成26年12月20日（土）-21日（日）

会場：名古屋市立大学臨床シミュレーションセンター（名古屋市瑞穂区）

対象：医師・初期研修医・産科婦人科専攻医・助産師・看護師

募集人数：30名

参加費：35,000円

主催：名古屋市立大学大学院医学研究科産科婦人科学

共催：NPO法人周産期医療支援機構（ALSO Japan）

後援：名古屋市立大学産科婦人科学教室同窓会（瑞櫻会）・名古屋市立大学臨床シミュレーションセンター

参加申し込み方法：題名に「ALSO 受講」と記載し、下記アドレスへ必要事項を記入の上お申し込み下さい。

E-mail: tkojika@med.nagoya-cu.ac.jp

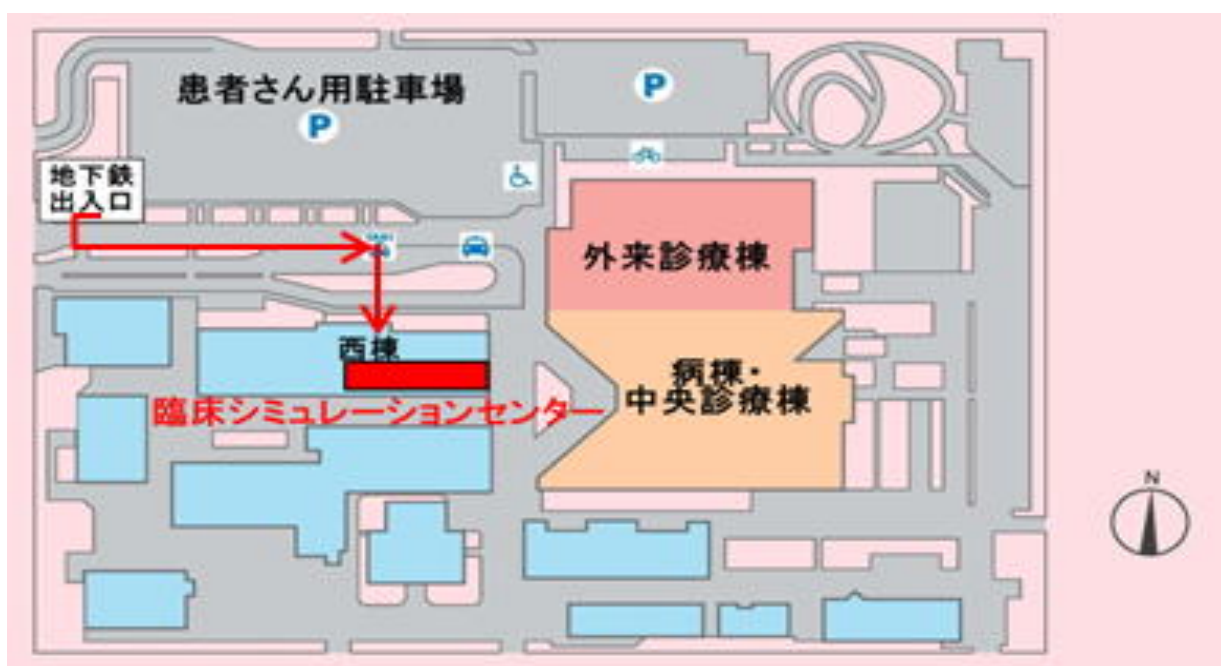
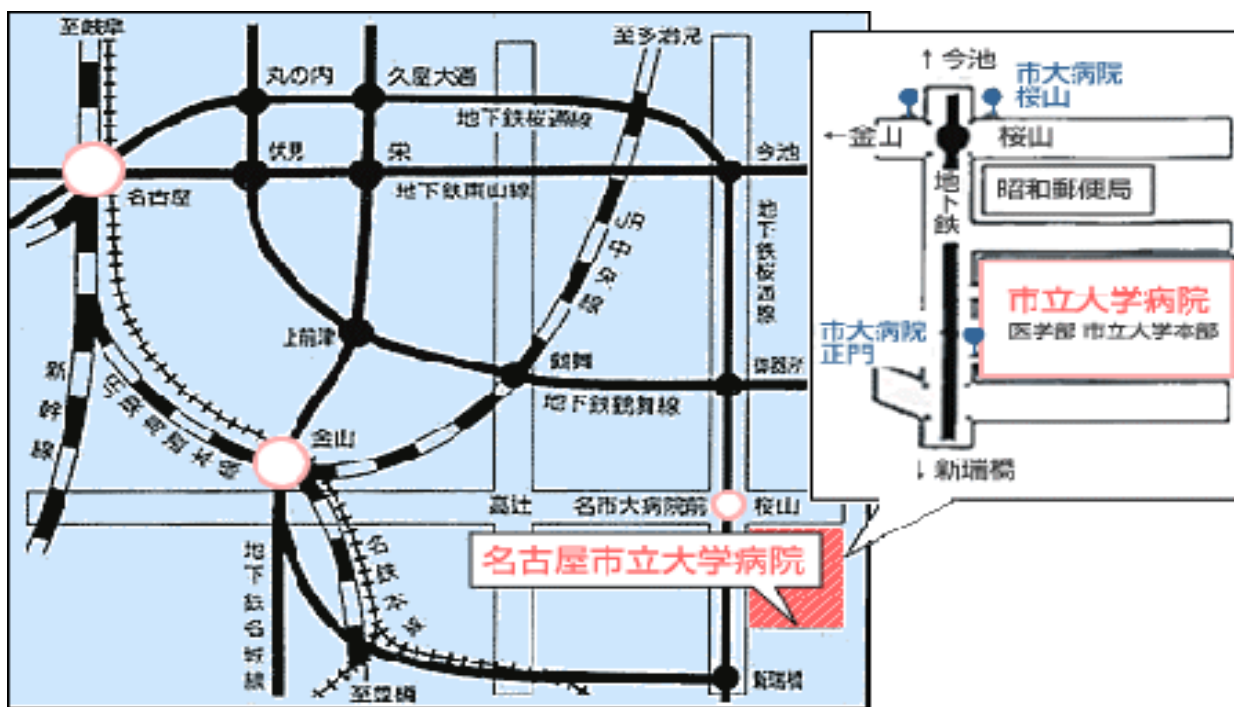
必要事項：①氏名②名前のふりがな③ローマ字表記（例 尾崎 康彦 Yasuhiko Ozaki）
 ④所属病院⑤職種及び診療科⑥役職⑦卒業年度（西暦）⑧現職経験年数（研修年数）⑨現住所
 ⑩E-mail アドレス（携帯メールアドレス不可・1つのアドレスで二名以上の応募は不可）
 ⑪電話番号（当日連絡がつくもの）

締め切り：平 26 年 10 月 24 日（金）

問い合わせ先：〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1

名古屋市立大学産科婦人科 尾崎康彦 TEL:052-853-8241 FAX:052-842-2269

E-mail:yozaki@med.nagoya-cu.ac.jp



交通アクセス

地下鉄

★名古屋駅(地下鉄桜通線名古屋駅)

野並行き→(約 16 分)→桜山駅(市立大学病院)下車 3 番出口

市バス

★栄バスターミナル(オアシス 21 のりば)

【4 番のりば】

栄 26 号系統 「博物館」行 →(約 25 分)→「市立大学病院」下車

★金山市営バスターミナル

【7 番のりば】

金山 11 号系統 「池下」行→(約 15 分)→「桜山」下車

金山 16 号系統 「瑞穂運動場東」行→(約 15 分)→「桜山」下車

金山 12 号系統 「妙見町」または「金山」行→(約 15 分)→「市立大学病院」
下車

【8 番のりば】

金山 14 号系統 「瑞穂運動場東」行→(約 15 分)→「市立大学病院」下車

・地下鉄・市バスの時刻表については、名古屋市交通局ホームページ(URL : <http://www.kotsu.city.nagoya.jp/>)をご利用ください。